

第 44 回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会会議録

- 1 会議名 第 44 回一関地区広域行政組合一般廃棄物処理施設整備検討委員会
- 2 開催日時 令和 5 年 12 月 12 日（火）午前 10 時 00 分から正午
- 3 開催場所 一関市役所特別会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 石川隆明委員長、菅原幹成副委員長、佐藤和浩委員、西山朋志委員、千葉光社委員、千葉敏紀委員（小野寺啓総務部次長兼財政課長 代理出席）、岩渕嘉之委員、佐藤正幸委員、菅原彰委員、蜂谷敏志委員
 - (2) 事務局 吉田健総務管理課長、菊池弘施設整備係長、石川勝志主査、日下尚也主事、阿部康弘環境衛生係長
一般財団法人日本環境衛生センター 2 名（以下、日環センター）
W e b 参加 国際航業株式会社 2 名（以下、国際航業）

5 議 事

- (1) 9 月開催説明会の概要について
- (2) 環境影響評価準備書の概要について
- (3) 一般廃棄物処理施設整備に係る施設規模の考え方について

6 公開、非公開の別 非公開

7 協議内容 ※議事(2)のみW e b 参加ありのため議事(2)より進行。

- (2) 環境影響評価準備書の概要について

事務局 環境影響評価準備書とは、最終的に作成する環境影響評価書に向け、現況の調査、影響の予測、その結果の評価を公表し、意見をいただくことで適正な環境配慮がなされるようにするものである。

各項目の調査、予測、評価は資料のとおりである。なお、環境配慮事項としているものを実施することにより、環境への影響を小さくするものであり、環境保全措置については、影響が大きいと予測される事項について、今後の対応を示したものである。

（資料 No. 2 により説明）

委員長 説明会においてはどのように説明するのか。

事務局 対象地域である弥栄と、川崎市民センターの 2 箇所で説明会を行う予定であり、調査結果とそれに基づく予測評価について本日の説明内容と同じ内容を説明する。

委員長 本日は配布資料である「あらまし」に沿って具体的に説明いただいたが、より分かりやすい説明となるよう検討したほうがよい。

規模によって根拠法令が異なることを改めて説明する必要がある。

また、全項目について説明するのは大変であるが、こういった考え方でこの予測としたかは示した方がよい。

委員 今説明をいただいた項目は必要な項目だとは思いますが、時間的にもう少しコンパクトにした方が住民の皆さんも集中して聞けるのではないかと。

初めて聞く用語もあると思うので、解説を入れていただくと理解がしやすくなると感じた。例えば評価結果の中での「環境基準」や「参考値」という用語について、準備書を詳しく見れば解説が書いてあるとは思いますが、そこまで見ない方もいるだろうといった前提で考えていただきたい。

委員 悪臭の環境配慮事項には、出入口にエアカーテンを付けるとか、消臭剤の噴霧とあるが、この消臭剤の噴霧はどういったものか。

日環センター 臭いを臭いで打ち消して悪臭を感じにくくするものが消臭剤である。冷蔵庫にあるような「脱臭」剤ではなく、プラットフォームで噴霧するような臭い消しというイメージ。

委員 定期的に噴霧するのか。

日環センター 収集車両が入ってくる時などに定期的に行う。ごみを投入する場所は、ごみからの液体などが出るため、投入扉の前で噴霧するとか、プラットフォームに定期的に水を撒いて洗浄することで、ある程度臭いの発生源を流して排出することができる。

委員 準備書の縦覧が既に始まっているとのことだが、問い合わせの状況はどうか。

事務局 今のところ意見等はいただいている。

委員長 説明会に参加される近くにお住まいの住民の方の関心度が高いところについて、わかりやすく説明するというのも1つの方法である。

車の通行による振動はどうか、川は汚れないのかといった、今までの説明会の中で関心がありそうなものを中心に説明するというのも良いと思う。

日環センター 我々が説明会に出席させていただいて、住民の方が一番気にされていると感じることは、交通に関することだと思う。

施設からの煙突排ガスや収集車両による影響は非常に小さいといった予測結果を説明し、そのほか細部については資料をご覧くださいことでも良いのではないかと。

また、水質や土壌など対策案が重複しているものについては、まとめて説明しても良いのではないかと考える。

副委員長 12項目を1つずつ説明するよりも、関心のあるところに絞った説明とし、あとは住民の方々からのご質問をいただいて回答するのが良い。

委員長 「環境配慮事項」と聞くと、住民の人たちは施設整備をする上での必ず行う約束事項と捉えられるのではないかと。「環境配慮事項」についての説明をしないと誤解を生む可能性があるため、予め考え方を説明しておく必要がある。

事務局 「環境保全措置」と「環境配慮事項」については行うことを前提としたものになる。

委員 事前に発行している「くらしの情報」では、説明会の時間を1時間半と設定していたと思うが、時間配分は、説明時間及び質疑応答をどのくらいに考えているのか。

事務局 説明については1時間半のうちの30分、残りは質疑応答と考えている。

(1) 9月開催説明会の概要について

事務局 9月に開催した説明会において生活環境影響調査について説明を行い「調査期間が短い」、「調査地点が少ないのではないか」といったご意見が寄せられたことから、内容を見直し、期間や地点の変更を行った。

生活環境影響調査以外については、候補地の選定過程についてご意見があった。

(資料 No. 1-1～3 により説明)

(3) 一般廃棄物処理施設整備に係る施設規模の考え方について

事務局 今年度改訂予定としている一般廃棄物処理基本計画のごみ処理量の推計による施設規模の考え方について確認を行った。

(資料 No. 3 により説明)

委員 構成市町の減量化計画が目標通り達成し、その傾向が続くという試算のようであるが、減量化は計画通り進んでいるのか。

委員 減量化計画の数値は本日持ち合わせていないが、一人当たりのごみ排出量は計画通り減少していないと思う。原因としては核家族化や、生活様式の変化によるところが大きいと思う。

施設規模の考え方としては、実績をもとに最近の推計による数値によって求めるのが良いと思う。

委員長 この場でごみの処理量を項目ごとに検討していくのは現実的ではないため、各市町の状況を聞きながら施設規模の検討を進めて欲しい。

8 担当課 総務管理課